

**特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム**  
**2020年度第12回事業審査委員会 議事録**

- 1 日時：2021年3月23日(火) 18:05~18:58
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室（Web会議）
- 3 出席者の確認

事業審査委員総数5名のうち、事業審査委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

事業審査委員

学識経験者：永井 秀哉（共同代表理事）

学識経験者：石井 正子

外務省：臼井 将人

学識経験者：堀場 明子

事務局長：高橋 丈晴

オブザーバー

外務省：萩峯 一樹

4 審議事項

- (1) 第一号議案：第11回事業審査委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認。

- (2) 第二号議案：事業審査分科会委員の増員

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：海外・国内ともに承認

- (3) 第三号議案：緊急準備金を財源として立ち上がったプログラム内における執行残の付け戻しについて

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認

- (4) 第四号議案：西日本豪雨被災者支援プログラム 期間延長について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認

- (5) 第五号議案：害虫被害緊急支援プログラムにかかる事業計画書の承認：1 事案

<REALs>南スーダン中央エクアトリア州における農家およびコミュニティに対する害虫被害  
拡大防止のためのレジリエンス強化事業

結果：承認。

事業審査分科会での結果：承認。

事業審査分科会でのコメント：

1. JPF 資金でバッタ対策支援をしている他の団体と知見を共有していただきたい。

2. 事業効果がどの程度事業地に波及するのかをモニタリングで確認できるよう、ログフレームに追記をしていただきたい。
3. 活動内容とモニタリング項目（2.1.4の部分）に対応していない点があるため、検討しなおせる部分は検討し、修正していただきたい。
4. 女性の置かれた状況と対応アプローチ（なぜ女性農家は脆弱性があるといえるのか、女性をどう活動に巻き込もうとしているのか等）について、追記が必要な部分を申請書に追記していただきたい。

(6) 第六号議案：新型コロナウイルス対応緊急支援にかかる事業計画書の承認：1事案

〈PWJ〉福祉施設を対象とした新型コロナウイルス対策個別相談事業

結果：条件付き承認。

事業審査委員会での変更：

条件として4つ目を追記すること。

条件4：ワクチン接種等によりコロナ罹患のリスクが軽減し、対応ニーズが減少した際の対応策を記述するよう条件に追加。

事業審査分科会での結果：条件付き承認。

事業審査分科会での条件：

1. 支援の対象施設について選定のクライテリアを設け、事業計画書に記載のこと。
2. 今回の事業の更なる広がりを持たせるため、相談会で得られたものについて相談会に参加できなかった他の施設への共有といった方策についても検討のこと。
3. AIチャットボットの認知度向上を目指し、さらに多くの方に利用してもらえるよう方策を検討のこと。また、運用（内容の執筆者や出典、免責事項といった利用において生じる責任の範囲の表示など）についても検討のこと。

(7) 第七号議案：休眠預金等活用事業 2020年度（防災減災）についての承認：7事案

〈特活ワンファミリー仙台／特活YNF〉防災・減災に取り組む民間団体等への災害ケースマネジメント ノウハウ移転事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認。

事業審査分科会でのコメント：

1. 事業を実施する地元行政（特に徳島県）との調整状況（支援の要請があるのか、具体的にどう連携するのか等）を明確に記す。
2. 事業地の地元民間団体との具体的な連携調整の状況を記す。
3. 中長期アウトカムと短期アウトカム・アウトプット・紐づく活動の指標をより精度をあげたものにする。

〈GNJP〉子育て世代への食に対する災害対応事業

結果：不承認。

事業審査分科会での結果：不承認。

事業審査分科会でのコメント：

1. 他団体の申請内容に比較し、その実現可能性、具現性が低いと判断したため。具体的

にどのように支援活動を展開していくのか明確でない

〈一社ピースポート災害支援センター〉避難所運営の人材育成と支援調整のための全国ネットワークを形成する

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認。

事業審査分科会でのコメント：

1. メンバーの役割について、特に事業期間中に災害が発生した場合の人員体制の調整目途も含み、どのような体制で本事業に取り組む予定なのか記す。
2. 事業概要の（１）～（３）と中長期アウトカムと短期アウトカム・アウトプット・紐づく活動の指標をより精度をあげたものにする
3. モデル地域の自治体との調整状況や関係性などを明確にする。

〈公社シャンティ国際ボランティア会〉宗教施設を活用した地域の防災・減災の仕組み構築と、被災地内外のネットワークづくりのための基盤整備

結果：不承認。

事業審査分科会での結果：不承認。

事業審査分科会でのコメント：

1. 他団体の申請内容に比較し、その実現可能性、具現性が低いと判断したため。災害時に宗教施設を巻き込む仕組みは大切でコンセプトは良いが、本事業との適合性という意味では劣る。

〈特活岡山NPOセンター〉支援団体の動きと被災地状況をリアルタイム共有する仕組みづくりプロジェクト

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認。

事業審査分科会でのコメント：

1. 事業計画書にあわせ予算計画書を見直すこと。特にシステム開発については段階的な投資となるよう1年目は仕様書の作成に専念することとする。
2. 1年ごとにJPF事務局と内容の精査・審査を実施することとする。
3. 開発するシステムの規模等についてはJPF事務局と再検討し、事業計画書を修正すること（アプリ更新への対応、個人情報取扱いに関連するすみわけ、被災地域先の状況への柔軟な対応等）。

〈佐賀災害支援プラットフォーム〉佐賀から九州へ災害たすけあいの輪を広げよう！

結果：不承認。

事業審査分科会での結果：不承認。

事業審査分科会でのコメント：

1. 他団体の申請内容に比較し、その実現可能性、具現性が低いと判断したため。実績も

少なく、実行可能性が弱い。

〈特活フードバンクかごしま〉災害支援ネットワーク構築事業

結果：不承認。

事業審査分科会での結果：不承認。

事業審査分科会でのコメント：

1. 他団体の申請内容に比較し、その実現可能性、具現性が低いと判断したため。ネットワークをどう作り上げていくのかが不明。実行可能性が低く、また予算計画も粗雑である。

## 5 報告事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症に対する対応指針4（4）に基づく報告（常任）
- (2) 事業実施・助成ガイドラインの改定について（2020年度第2回）（常任）
- (3) プログラム戦略会議の報告について
- (4) 2020年度補正予算と2021年度当初予算案について（常任）
- (5) 新型コロナウイルス対策緊急支援プログラム 改訂プログラム方針案の修正
- (6) 休眠預金等活用事業 事業審査分科会規約（国内）の適用について

## 6 書面による報告

- (1) NGOユニットからの報告
- (2) 事業計画変更の報告
- (3) JPF事務局審議結果の報告
- (4) 固定資産処理の報告
- (5) 終了報告書審議結果の報告
- (6) コアチームの報告
- (7) 共に生きるファンド監査結果報告書

## 7 次回以降の事業審査委員会開催日時と会場について

2021年度第1回事業審査委員会：2021年4月23日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室

2021年度第2回事業審査委員会：2021年5月21日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室

2021年度第3回事業審査委員会：2021年6月24日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室

2021年度第4回事業審査委員会：2021年7月21日(水) 麴町GN安田ビル4F会議室

2021年度第5回事業審査委員会：2021年8月26日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室

2021年度第6回事業審査委員会：2021年9月24日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室